



2019年11月12日

富国生命保険相互会社
アジア開発銀行
クレディ・アグリコル証券会社

債券投資を通じた社会貢献事業支援
アジア開発銀行の「ジェンダー・ボンド」の購入
～ジェンダーの平等化及び女性の活躍推進への取組み～

富国生命保険相互会社(社長 米山好映、以下「富国生命」)は、アジア開発銀行(ムーディーズ:Aaa、スタンダード&プアーズ:AAA、フィッチ:AAA)が発行するジェンダー・ボンドへの投資を実施しました。クレディ・アグリコル証券会社が単独主幹事となり、総額5億スウェーデン・クローナ(日本円で56億円相当)全額を富国生命が購入しました。本債券の受渡しと資金決済が11月12日に完了しましたので、その概要についてお知らせいたします。

アジア開発銀行は1985年に「開発における女性の役割に関する政策」を採択して以来、女性や少女の権利拡大を目的とする様々なプロジェクトへの支援を継続的に行っています。ジェンダー*1の平等を促進することは、アジア開発銀行が2018年に策定した新戦略「ストラテジー2030」*2における優先課題の1つとなっています。アジア開発銀行はジェンダーの平等について、(i)女性の経済的権利の拡大、(ii)人間開発(保健・教育等)におけるジェンダーの平等、(iii)意思決定への参加とリーダーシップを担うことにおけるジェンダーの平等、(iv)女性の可処分時間不足への対応、(v)女性の外部ショック(災害、金融危機等)への耐久力向上、の5分野に注力し、成果を上げることが目標にしています。

※1 身体的特徴としての性別というよりも、人間社会における心理的・文化的な性別、社会的な役割としての男女のあり方、「男性らしさ」や「女性はこうあるべき」といった通念を意味します。

※2 詳しくはアジア開発銀行の下記ホームページをご参照ください。

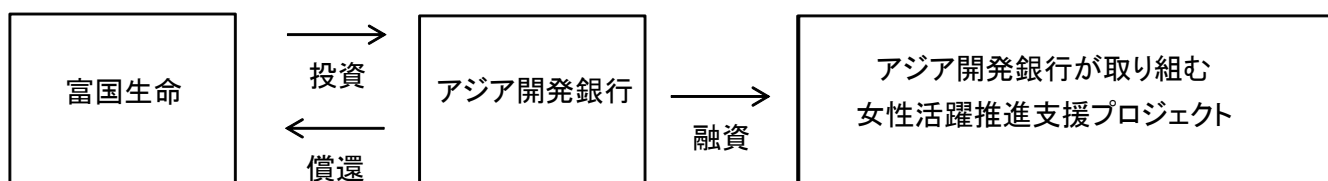
<https://www.adb.org/sites/default/files/institutional-document/486741/strategy-2030-main-document-ja.pdf>

発行概要

発行体	アジア開発銀行 (ADB)
起債通貨	スウェーデン・クローナ
発行総額 (購入額)	5億スウェーデン・クローナ 56億円相当額 (1スウェーデン・クローナ=11.21円にて計算)
受渡日	2019年11月12日
償還日	2039年11月12日
発行利率	1.06%
主幹事	クレディ・アグリコル証券会社

<別紙>

アジア開発銀行債券の購入による社会的責任投資の仕組み



本件は、クレディ・アグリコル証券会社を通じて、債券の発行体であるアジア開発銀行と資金の出し手である富国生命の直接的な協議を経て実現しており、多数の投資家が参加する公募債とは一線を画した形態となっています。

富国生命は本債券への投資を通じて、女性に対する差別や女性の社会的制約をなくし、教育や雇用の機会を増やすなど、女性の活躍を推進するアジア開発銀行の取組みを支援します。

本債券の購入については、ご契約者の大切な資金を運用するにあたって、収益性の確保のみならず、社会貢献事業への支援も果たしうる手法であると位置づけており、今後も、同様の投融資を継続的に実施していきます。

以上

■アジア開発銀行について

アジア開発銀行(通称 ADB:Asian Development Bank)は1966年に設立が合意されたアジア・太平洋地域を対象とした国際開発金融機関です。ADBは世界最大の貧困人口を抱える同地域の貧困削減を図り、平等な経済成長を実現することを最重要課題として、この困難な問題に取り組んでおり、日本は設立以来、最大の出資国として貢献しています。

■クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンクについて

クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(通称クレディ・アグリコル CIB)は、Tier1 自己資本ベースで世界第12位(バンカー誌2019年7月)のクレディ・アグリコル・グループの法人営業及び投資銀行部門です。欧州、米州、アジア太平洋地域、中東およびアフリカにまたがる約8,000人の従業員が顧客の金融ニーズを満たすサポートを世界各国で行っています。クレディ・アグリコル CIBは、資本市場、投資銀行、ストラクチャードファイナンス、コーポレートバンキングにおける様々な商品を大手企業、機関である顧客に提供しています。また、クレディ・アグリコル CIBは、気候変動ファイナンス領域のパイオニアであり、この分野ですべての顧客に包括的に商品提供をするマーケットリーダーです。クレディ・アグリコル証券会社はクレディ・アグリコル CIBの一部です。

<別紙>

【アジア開発銀行(ADB)プロジェクト事例】

インド西ベンガル地方：飲料水調達のためのインフラ整備プロジェクト

インドの西ベンガル地方では、郊外に住む人口約7,460万人のうち水道水にアクセスがあるのはわずか47%程度とされています。水道水のインフラが整っていない地域では、家庭用水を調達するために女性が主体となり、日々時間をかけて遠方の水汲み場を往復します。ADBはこのプロジェクトを通じて上水道のインフラ整備を支援し、この地域の女性や子供達の水汲みの負担を減らすことを目指します。またその結果より多くの女性が、これまで水汲みに奪われていた時間を使って経済活動に参加したり、教育を受ける機会を得たりすることが出来ると考えます。さらに、このプロジェクトにより創出される約350の雇用の3分の1に女性が起用されると想定しています。



©ADB Photo Library

アジア開発銀行融資額：2.4 億米ドル
事業期間：2018 年～現在

モンゴル：高等教育へのアクセス向上を支援するプロジェクト

モンゴルでは長引く不景気の中、財政再建に取り組んでいますが、教育のための政府予算削減もあり、就学率における地域格差及び、高等教育機関卒業後の就職率に引き続き課題が残ります。

この課題に対し、本プロジェクトでは、研究活動や人員育成、海外の高等教育機関との提携プログラムの策定、大学における透明性や説明責任能力向上に向けた経営陣の研修を行うほか、産学協同の取組みを支援し、変化するモンゴル経済のニーズにあったスキルを身につけた人材の育成をすることにより高等教育の質の向上を図ります。さらに、地方大学における通信教育を支援することで、農村部の貧困層出身者の高等教育進学を後押しし、格差の是正を目指します。モンゴルでは高等教育機関に進学する学生のうち約6割が女子学生であることから、高等教育の質を向上させることにより、将来的に社会での女性の活躍推進につながるプロジェクトでもあります。



©ADB Photo Library

アジア開発銀行融資額：2.2 千万米ドル
事業期間：2011 年～現在